

第55回市町村職員を対象とするセミナー 「生活保護の適正運営と自立支援プログラムについて」

1 目的

国と地方共通の課題である生活保護の適正運営と、平成17年度から導入した自立支援プログラムについて、平成18年度における運用方針等を説明し、モデル事業として平成16年度から取り組んでいる北海道釧路市、大阪市の事例紹介を行うとともに、適正運営・自立支援に関する各自治体間の情報交換を行うことにより、生活保護の適正運営及び自立支援プログラムの導入に取り組んでいる実施機関（市及び福祉事務所を有する町村）を支援することを目的とする。

2 日時 平成18年6月16日（金） 13:00～17:10
（12:30開場、受付開始）

3 会場 厚生労働省低層棟2階講堂（合同庁舎5号館）

4 プログラム案

一 開会	13:00～
二 厚生労働省挨拶 厚生労働省社会・援護局保護課	13:00～ (5分)
三 地方自治体における事例の報告	
①「釧路市における生活保護受給母子世帯自立生活支援モデル事業」 講師：釧路市福祉部生活福祉事務所 所長 星光二氏	13:05～ (70分)
②「大阪市における被保護者にかかる就労支援モデル事業」 講師：大阪市健康福祉局生活福祉部保護課保護係長 大場 博美氏	14:15～ (70分)
— 休憩 —	15:25～ (10分)
四 厚生労働省から行政説明 「生活保護の適正運営と自立支援プログラムについて」 説明者：厚生労働省社会・援護局保護課 課長補佐 里村 浩	15:35～ (45分)
五 質疑・地方自治体間の意見交換	16:20～ (50分)
六 閉会	17:10

※ 進行には万全を期してまいります。場合によっては終了時間を超過する場合がございます。予めご了承ください。